

○令和4年度 教育事業

「大雪地域リーダー養成兼ボランティアセミナー」(R4.5.14(土)～15(日))

令和4年度国立大雪青少年交流の家教育事業

# 大雪地域リーダー養成 兼 ボランティアセミナー



楽しく体験！深める学び！  
そのために必要なことは何だろう？

交流の家では今回体験したこと・学んだことをすぐ生かす機会があります。  
ぜひ、子供たち・地域・自分自身のために一緒に活動しましょう！

期 日：5/14(土)～15(日)1泊2日  
対 象：高校生や大学生、社会人でボランティア活動や地域活動に興味関心がある方、  
これから始める方、又は既に活動している方など  
参加費：3,100円

バス送迎  
有り

詳しい案内は裏面へ

独立行政法人 国立青少年教育振興機構  
国立大雪青少年交流の家  
National Taisetsu Youth Friendship Center

参加を希望する方は、  
こちらから→



◆プログラム

①【講義①】体験って大切なんだ！

講師：国立大雪青少年交流の家の職員

今年度、国立大雪青少年交流の家が体験活動の重要性を普及するために作成した「自然体験」「外遊び」「読書活動」に関する資料をもとに、参加者は体験活動の重要性を学んだ。

②【講義②】今の子供たちに必要なものは？

講師：北海道教育大学教職員大学院特任教授 木下 俊吾 氏

今の子供たちを取り囲む社会の情勢や新型コロナによる弊害を講師の経験を含めながら話を聞いた。その後、子どもたちと向き合うときに必要な姿勢等をロールプレイを通して学んだ。

③【講義・演習①】安全の基礎を学ぼう

講師：どんころ野外学校 新野 和也 氏

安全な活動を行うために、リスクマネジメントの考え方や救急法等を学んだ。講義のあとは、リスク発見トレーニングを実施した。グループに分かれ、簡単なレクリエーションを行い、そのなかでどんな危険があり、どう対処したらよいか、意見を出し合った。

◆目的

- (1) 地域で活動しているリーダー等を集め当施設で行っている体験活動を普及啓発する場を設けるとともに、体験活動の重要性等を理解し、普及啓発できる者を育成する。

◆参加実績(定員30名)

参加18名

- ・高校生7名
- ・大学生9名
- ・社会人2名

ボランティア3名



- ④【講義③】交流の家や施設のボランティア活動について知ろう  
講師：国立大雪青少年交流の家職員、法人ボランティア  
青少年教育施設の設置目的や事業の取り組みなどを知るために交流の家職員と当施設で活躍している法人ボランティアが講師となって話をした。その後、法人ボランティア3名が参加者同士が交流できるレクリエーションを行った。



- ⑤【演習②】プログラムを体験！  
講師：NPO 法人癒しの森づくり理事長 佐藤 秀夫 氏  
参加者は、今後の事業で子どもなどに活動の支援や安全指導ができるように、講師から刃物の使い方や火をおこす際のコツなどを学んだ。その後、実際に火をおこし、ホットサンドを作り、自分で起こした焚き火を使って野外調理を行った。

- ⑥【演習③】ボランティア活動の意義と心構え  
講師：国立大雪青少年交流の家職員、法人ボランティア  
「ボランティア」に対するイメージをお互いに意見を交換を行い、一般的なボランティア活動の定義について学び、理解を深めた。また、活躍している法人ボランティアからボランティア活動の楽しさや大変さ、大事にしていること等の話を聞き、自分がボランティアとして参加するときに大切にしたいことをそれぞれが考え、交流しあった。



#### ◆事業運営・企画のポイント

○参加者が主体的に活動できる仕組みとして、グループワークや意見交換、体験を多く取り入れたプログラム構成とした。

○すでに法人ボランティアとして活動している3名がプログラムを担当し、生活面での支援や休憩時間の対応をするなどして、参加者が安心して活動に取り組める運営体制とした。



#### ◆参加者の声

- ボランティアの方、優しく、明るく、ステキな人しかいなくて、とても良い環境で学ぶことができた。講義、演習も興味深いものばかりで、面白かったです。施設も、とてもきれいで過ごしやすかった。
- いろいろなことを学ぶことができたので、大雪青少年交流の家だけでなく、他の場所でのボランティア活動でも活かしていきたいと思った。
- 様々なことを学ぶことができ、次回以降の活動にも参加してみたいと思った。

#### ◆事業の成果

参加者自身が様々な体験を行い、そこから学びを得るというサイクルを通して、体験活動の重要性等を理解してもらい、普及啓発しようと気持ちを高めることができた。